

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2003-18371 (P2003-18371A)

【公開日】平成 15 年 1 月 17 日 (2003.1.17)

【出願番号】特願 2002-137565 (P2002-137565)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/19

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 10 日 (2005.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スキャナの較正方法であって、  
完全較正走査を実行するステップと、  
少なくとも 1 回の一部較正走査を実行するステップと、  
前記完全較正走査を前記一部較正走査と比較するステップと、  
前記一部較正走査と前記完全較正走査との差が少なくとも所定の量に等しい場合、前記完全較正走査を再度実行するステップと、  
を含む方法。

【請求項 2】

前記一部較正走査は走査ヘッドを移動しないで行われる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記一部較正走査はスキャナランプをオフにしないで行われる、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記一部較正走査は定期的に行われる、請求項 1、2、または 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記一部較正走査間の期間は時間に基づいている、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記一部較正走査間の期間は温度に基づいている、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

スキャナの較正方法であって、  
完全較正走査を実行するステップと、  
少なくとも 1 回の一部較正走査を実行するステップと、  
前記完全較正走査を前記一部較正走査と比較するステップと、  
前記一部較正走査と前記完全較正走査との差が所定の量より少ない場合、前記完全較正走査の利得を調整するステップと、  
を含む方法。

【請求項 8】

スキャナの較正方法であって、  
完全較正走査を実行し、その結果を基準走査として記憶するステップと、

走査ヘッドを移動せずに少なくとも１回の一部校正走査を実行するステップと、  
前記基準走査を前記一部校正走査と比較するステップと、  
前記一部校正走査と前記基準走査との差が少なくとも所定の量に等しい場合、感度不均一性（P R N U）校正走査を実行してその結果を基準走査として記憶するステップと、  
を含む方法。

【請求項 9】

スキャナの校正方法であって、  
完全校正走査を実行してその結果を基準走査として記憶するステップと、  
走査ヘッドを移動せずに少なくとも１回の一部校正走査を実行するステップと、  
前記基準走査を前記一部校正走査と比較するステップと、  
前記一部校正走査と前記基準校正走査との差が所定の量より少ない場合、前記基準走査の利得を調整するステップと、  
を含む方法。

【請求項 10】

実質的に、添付の図面に関して上記し、添付の図面に示されたような、スキャナの校正方法。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の方法の方法ステップを実行するよう動作可能な手段を備えているスキャナ。

【請求項 12】

スキャナの校正方法であって、  
完全校正走査を実行してその結果を基準走査として記憶するステップと、  
走査ヘッドを移動せずに少なくとも１回の一部校正走査を実行するステップと、  
前記基準走査を前記一部校正走査と比較するステップと、  
前記一部校正走査と前記基準校正走査との差が所定の量より少ない場合、前記基準走査の利得をグローバルに調整するステップと、  
を含む方法。

【請求項 13】

前記一部校正走査は定期的に行われる、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

スキャナの校正方法であって、  
感度不均一性（P R N U）校正走査を実行し、その結果を基準走査として記憶するステップと、  
走査ヘッドを移動せずに少なくとも１回の一部校正走査を実行するステップと、  
前記基準走査を前記一部校正走査と比較するステップと、  
前記一部校正走査と前記基準走査との差が少なくとも所定の量に等しい場合、前記 P R N U 校正走査を再度実行するステップと、  
を含む方法。

【請求項 15】

スキャナの校正方法であって、  
完全校正走査を実行し、その結果を基準走査として記憶するステップと、  
走査ヘッドを移動せずに少なくとも１回の一部校正走査を実行するステップと、  
前記基準走査を前記一部校正走査と比較するステップと、  
前記一部校正走査と前記基準走査との差が少なくとも所定の量に等しい場合、感度不均一性（P R N U）校正走査を実行してその結果を基準走査として記憶するステップと、  
を含み、前記一部校正走査は定期的に行われる、方法。